

公明お知らせ 133号

K O M E I • E D O G A W A • T O K Y O

<http://www.e-komei.com>

発行：江戸川区議会公明党／令和2年11月

令和2年第3回定例会報告

令和2年9月17日から10月22日までの会期36日間で第3回定例会が開会され、区議会公明党からは以下の3名が登壇しました。



第3回定例会で代表質問する竹平区議

代表質問 竹平ちはる

問 公共調達のあり方について

答 SDGs目標達成にもつながるため、労働者の勤務条件を守り、事業者の負担軽減についても検討し、公契約条例を整備していきたい。

問 江戸川区のめざす将来像について

答 人口動態推計等をもとに議論を重ね、共生社会実現のための2100年に向けた本区の将来ビジョンとともに、2030年に向けての中期計画としてSDGs達成計画も策定していく。

問 コロナ禍における高齢者の疾病予防と健康維持・増進、見守りについて

答 感染防止対策をとったうえで、通いの場やフレイル予防などを再開をしていきたい。見守り名簿の電話番号の把握にもつとめていく。

問 すぐそくスクール学童クラブの時間延長について

答 今回条例改正案を提出しており、19時まで延長する。それに伴い、職員採用等で人材確保を行い、補食の提供も検討していく。

問 保育園待機児童対策について

答 認可保育園は令和3年度は5園新設だが、翌年度は更に増設予定。認証保育所の保育料負担軽減の拡充や認可園の分園等で待機児童減少に最大限努力する。

問 水害対策について

答 垂直避難については、都営住宅の空き部屋の活用は東京都と、民間ホテル5施設とは近々災害協定を締結する予定である。コロナ禍の想定での避難所開設・運営訓練を実施・検証し、実効性の高い訓練としていく。

問 新型コロナウイルス感染症対策について

答 ①職員増等により保健所の体制強化をはかる。
②コロナ関連の中小企業融資は今年度末まで期限を延長する。
③高齢者・障がい者施設、保育園、幼稚園、学校等の職員へのPCR検査を区独自で実施。東京都実施以外の施設について、区のPCR検査車両も活用し実施する。



一般質問 川瀬やすのり

問 今後の公共交通、コミュニティ交通について

答 地域公共交通活性化協議会で多角的に検討し、MaaSについても議題にあげていきたい。区内のコミュニティ交通導入を検討しており、上一色周辺地区をモデルケースとしてタクシー業者と協議中で、令和3年から4年に実証実験を行う予定である。自動運転バスなど、より良い交通システムを検討していく。

問 柴又街道の都県橋について

答 千葉県の動きを注視している。東京都は2022年に事業化しており、都知事にも事業の推進を直接伝えたい。

問 軽度外傷性脳損傷(MTBI)の予防について

答 啓発チラシを健康サポートセンター以外にも、小中学校やスポーツ施設にも配置して区内に周知をはかる。



一般質問 伊藤てる子

問 児童相談所の今後の取り組みと社会的養護が必要な子ども達への支援について

答 ①子どもと向き合う時間を増やすためにAI活用を検討していく。

②社会的養護が必要な子どもたちの施設退所後の継続した支援の在り方を引き続き研究していく。経済的な支援についても、地域力活用基金又は独立した基金等、支援の仕組みを検討していく。

問 青森大学東京キャンパスとの連携強化について

答 2019年4月清新第二小学校後施設に開学したが、本区としても積極的に連携を進めたい。留学生が多いので、青森大学東京キャンパスが本区の国際交流の場になれば良いと考えている。

問 ひとり親など、困窮家庭への食の支援について

答 フードバンクを活用した食の支援は関係部署で連携し、より多くの家庭に届くよう、検討を進めたい。

問 ひとり親支援の拡充について

答 コロナの影響を受けたひとり親への区独自の経済的支援は考えていないが、実情に合わせた丁寧な対応をしていきたい。



ご意見・ご要望はこちらへ！

TEL:03-5662-5112 / FAX:03-3674-5860



佐々木 勇一



竹平 智春



所 隆宏



太田 公弘



窪田 龍一



堀江 創一



関根 麻美子



伊藤 照子



中道 貴



竹内 進



田中 淳子



川瀬 泰徳